

問題認識を共有する次世代人材コミュニティ形成プログラム

共創時代の国際開発人材育成セミナー 参加者募集！

ー「分析提案型開発コンサルタント」から「接続創発型開発プロデューサー」へー
開発の理論と現場をつなぎ構想の種とリソースをつなぐ

国内経済の停滞や優先順位の変化により諸ドナーが予算を削減しており、国際開発業界は「援助・国際協力」から「共創・価値創造」への転換期を迎えています。その中で求められる人材とは、価値創造を構想しリソースを集め、計画を実現する「プロデューサー」です。人を巻き込み、接続を生み、構想に共感を形成できるような「プロデューサー」になるためにはどう考え、動けばいいか、これまでの開発協力の思考をどう転換すべきか考えていきます。経験豊富な専門家、コンサルタント他による最先端の講義や、少人数のディスカッションを通して学べる全8回のセミナーを開催します。新たな「共創・価値創造」時代に対応したプロフェッショナルを目指す若手の参加を期待します。

- 開催会場：一般財団法人 国際開発センター会議室
- 開催日程：2026年8月28日(金)～2027年2月15日(月)。全8回
- 受講料：44,000円(全8回受講料と懇親会費の合計。税込)

JICA、コンサルティング企業、サービス業など幅広い分野から経験豊富な講師陣が集結！

1年後、自分でプロデュースして「社会を動かしていく構想」に挑める！（ピッチイベントを実施）

自発的に動く「プロデューサー」の能力を理論と討議で養える！
※全8回のセミナー概要は裏面をご覧ください。

セミナー修了後も参加者、関係者と継続的な交流、情報交換ができる！ 共同プロジェクト創出の契機づくりも！

【応募要項】

応募資格：大学院生あるいは社会人(25～35歳を主対象とする)

■募集定員：10名 ■選考方法：履歴書(学歴、職歴、語学力、志望動機)を踏まえた書類選考あり。募集締め切り後、選考結果を電子メールにて通知。 ■応募方法：以下の送付先に電子メール、または郵送で履歴書をお送りください。

■応募締切：2026年8月12日(水)

【お問い合わせ・応募書類送付先】

株式会社 国際開発ジャーナル社(担当：朝比奈)

〒113-0034 東京都文京区湯島2-2-6 フジヤミウラビル8階 TEL:03-5615-9670

E-Mail: seminar@idj.co.jp

■ セミナー概要

プログラムコーディネーター:大野 泉
国立大学法人政策研究大学院大学(GRIPS)名誉教授



■各回の進め方

講師による講義・問題提起を60分程度、全体討議（ディスカッション）を50分程度行う。残り40分は講師が自身の経験を共有しつつ、参加者に気づいたことを問う（オフレコセッション）。

各回の開催時間：18:00～20:30

【第1回】2026年8月28日(金)

1. 問題・課題認識の提起(講師:GRIPS名誉教授 大野 泉)

■現在の国際開発は、諸ドナーの経済停滞による援助予算の制約を踏まえ、「援助・国際協力」から「共創・価値創造」への転換点にある。価値創造のキーワードは「接続と創発」。 ■分析提案型の開発コンサルティングから接続創発型の開発プロデュースへ。 ■現在の国際開発は、日本の歴史に例えると旧体制が崩壊しつつある幕末期。開発コンサルタントは「お雇い外国人」的な人材。開発プロデューサーは「坂本龍馬」的な人材。 他

2. これまでの援助・国際開発とその人材(講師:一般財団法人 国際開発センター 理事長 石田 洋子)

■これまでの援助・国際協力は、ドナー国政府、国際機関主導による公的資金依存型。 ■開発コンサルタントの役割とその活動(可能性・強み、制約・弱み、成功事例など) ■プロジェクト方式による協力の利点欠点(ハンズオン、規模、持続可能性など) 他

【第2回】2026年9月18日(金)

3. 国際開発の重点課題と制約(講師:独立行政法人国際協力機構(JICA)副理事長 宮崎 柱)

■日本の国際協力におけるJICAの役割とその変遷 ■今後の国際開発の重点課題と制約 ■JICAは今後どうなる? ■接続創発型人材への期待 他

【第3回】2026年9月30日(水)

4. 新たな国際開発の軸と可能性(講師:アマゾンウェブサービス(AWS)ジャパン株式会社 常務執行役員 宇佐見 潮)

■情報が経済発展の鍵を握る時代の国際開発とは ■接続創発をリードする主体者としてのAWS ■AIを軸とした国家開発とインフラ整備(開発マスタープランの構築と展開) 他

【第4回】2026年10月16日(金)

5. 事業開発を通じた付加価値創造(講師:RK Partner CEO 児島 力)

■社会経済開発における総合商社の貢献(事業開発を通じた価値創造) ■インフラ提供企業から見た社会経済開発の課題と可能性 ■事業開発の方法論とは ■価値創造モデルの作り方 ■共創時代における付加価値創造とそのアプローチ 他

【第5回】2026年11月17日(火)

6. 構想を案件につなげる伴走型プロデュース(講師:フォーティエンスコンサルティング株式会社 シニアコンサルタント 宮 康貴)

■新たな案件組成の必要性 ■JICA・開発金融機関での勤務を踏まえた、それぞれの意義 ■各アクターの意義を踏まえた今後の民間企業への関わり方のあるべき姿 ■企業への伴走支援(国際機関・補助金活用からビジネス展開まで) 他

【第6回】2026年12月4日(金)

7. ゼロからイチを生む突破力(講師:Wismettacフーズ株式会社 理事 小貝 広樹)

■ビジネスシーズと潜在ニーズの見極め方(世の中の何をどう見るか) ■ゼロからの関係構築アプローチ(キープレイヤーの発掘、接近、クロージング) ■事業構想の構築(市場構造分析、サプライチェーン分析、M&A活用他) ■事業継続の仕組み創り

【第7回】2027年1月22日(金)

8. 財務構成が鍵を握る「構想から実現への道」

(講師:株式会社ケンドマネジメント 代表取締役社長 高橋 宏太郎)

■事例研究:ケンドマネジメント ■リスク分担の在り方とその事例 ■投資資金・民間資金・補助金・ODAの組み合わせの可能性 ■投資家が見るポイント 他

【第8回】2027年2月15日(月)

9. 共創時代における私の役割 何を動かしたいのか(参加者によるプレゼンテーションと意見交換)

■開発プロデューサーに求められるもの(開発コンサルタントとの違い) ■今後重要となる仕事への向き合い方

10. 総括と1年後のピッチに向けた課題提示(講師:GRIPS名誉教授 大野 泉)

11. 懇親会(参加者ならびに講師、事務局)